

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
 大パノラマ  
 ふ じ み たい  
**富士見台**  
 東濃森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

大パノラマ「富士見台」

〔東濃署〕 岐阜県中津川市神坂から長野県阿智村の県境に位置する「富士見台」は、昭和五十二年に湯舟沢国有林内の四十四鈴がレクリエーションの森「富士見台」として設定されました。チシマザサやクマザサが生い茂るなだらかな高原地帯で海拔一七三九メートルの頂上からは、三六〇度のパノラマが満喫できるとともに、深田久弥「日本百名山」の二十三座を展望できることで有名です。

元は山伏台と呼ばれていましたが、明治時代に富士教信者が富士参拝所をここに設けたことから「富士見台」と名がつけられました。恵那山や清内路へ至る登山ルートなどが整備され、近くには海拔一五八五メートルの「神坂峠」があります。

神坂峠は縄文時代から通行のあつた峠で、峠の頂上から灰釉陶器・須恵器・鏡・刀子などの遺物が多く発見されてお

り、国の史跡として指定されています。「古事記」には、日本武尊が東征の後「科野の坂の神をことむけ給ひて尾張の国に還り来ましこ」と記され、他にも日本書紀、続日本書紀などの古典に登場しています。

◇アクセス方法

名古屋・中津川方面からは、国道一九号線中津川落合「沖田交差点」から市道に入り神坂集落を経て神坂峠に至る（沖田交差点から約四〇分



富士見台からの展望